

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	プログラム言語論		
英文授業科目名	Programming Languages		
開講年度	2007年度	開講年次	3年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	情報工学科		
担当教官名	千葉 雄司		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
programming_language@mail.goo.ne.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
実社会で役に立っているプログラミング言語について、その生い立ちからはじまり、なぜそう進化していったのかということについて、比較的広く浅く学ぶ。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし。

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし。

<b>【教科書等】</b>
基本的に講義資料。ただし宿題を解くのに色々なプログラミング言語のマニュアル、チュートリアルなどを読む必要があるかもしれません。

<b>【授業内容とその進め方】</b>
<p>今、世の中にあるプログラミング言語は中々複雑怪奇です。いきなり使いこなそうと思っても「なんじゃこりゃ」という機能や約束ごとが沢山あって中々難しいかもしれません。そこで本講義ではプログラミング言語の歴史を遡りながら、「なんでこうなったんね」ということを知り、現行のプログラミング言語を使いこなすための糧としたいと思います。</p> <p>講義中に紹介するプログラミング言語は機械語，アセンブリ言語，LISP，Prolog，FORTRAN，C言語，Javaで，これらを使って実際にプログラムを組みながら，基本的に1言語あたり2回くらいの講義で紹介します。時間に余裕があれば他のプログラミング関係の話題（セキュアプログラミングなど）についても</p>

## 電気通信大学 平成19年度シラバス

触れるかもしれません。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

プログラムを作ってもらった課題を数回出し、最後に、プログラミング言語を紹介してもらった課題を出します。プログラムを作ってもらった課題については、提出してもらったプログラムについて、バグの有無、インデントなどソースコードの美しさ、コメントがどれだけ打ってあるかなど、総合的に判断して採点をおこないます。試験はしません。ただしプログラムを作るのはそれなりに手間な場合もあります。

### 【オフィスアワー：授業相談】

特に設けません。講義の前後につかまえてくれても対応しますし、電子メールでの質問にも対応します。

### 【学生へのメッセージ】

プログラミング言語は世の中には星の数ほどありますが、限られた講義時間中に紹介できるのは、そのごく一部です。本講義を超える範囲については自習などで補ってください。

### 【その他】

特になし。